

## 26年ぶりに県大会出場



市内の少年野球チーム・闘竜少年野球クラブが、6月18日に開催された神明あかふじ米・第30回兵庫県ジュニア軟式野球選手権北播ブロック大会で準優勝し、26年ぶりとなる県大会出場を果たしました。



第4位 兵庫北播リトルシニア

優秀選手賞 岩崎優太

ベストナイン賞 大西智起(捕手) 丸岡玲太(外野手)

リポピタンカップ第45回日本選手権大会出場(2年連続)



男子3年生の部	準優勝	村川瑛真
男子5年生軽量級の部	優勝	柴垣璃来
	第3位	森 俊士
男子5年生重量級の部	優勝	中谷雅夢
女子1年生の部	第3位	田中ひかり
女子5年生の部	優勝	田中あい

団体戦 第3位 社柔道少年団A

## 兵庫代表に選出



市内の少年野球チーム・社ベアーズに所属する坂本弥夏さん(兵教大附属小6年・写真右)と、福田少年野球クラブに所属する亀田真央さん(福田小5年・写真左)が、女子選手の兵庫県代表チームに選出され、8月4日から埼玉県で開催されるNPBガールズトーナメント2017に出場されます。

坂本さんは「みんなで声をしっかり掛け合って、優勝を目指します」と笑顔でした。また、亀田さんは「盗塁を決めること、エラーをなくすことを目標にがんばります」と決意に満ちた表情でした。

## 加東の野菜 都市部へ進出中!



加東市産の野菜が、JAみのり青年部加東支部のみなさんの手により、都市部への進出を続けています。同支部のみなさんは、農業

振興のための取り組みとして、都市部の料理店への進出による市内産野菜のPRを発案。今年6月から、神戸市内のステーキハウス『神戸プレジール』などに、市内産のピーマン・ズッキーニ・ニンニクなどの出荷を開始しており、今後も、玉ねぎ・シイタケなどを阪神間に広く納入していくとのことです。

同支部の藤本善仁さん(写真右)は「北播磨は気候がよく、野菜がおいしく作れます。今後も、おいしい加東の野菜を広めていければ」と話していました。

## 第22回オープントーナメントグランドチャンピオン決定戦 全日本少年少女空手道選手権大会



中学2年男子重量級の部  
第3位 小寺 啓  
(滝野中)

中学1年女子の部  
第3位 小寺もとこ  
(滝野中)

## 全国民生委員児童委員連合会会長表彰

優良民生委員児童委員協議会表彰

加東市民生児童委員連合会

永年勤続民生委員・児童委員表彰

山本 保さん(沢部団地) 下山絹子さん(社2区)

## 地域に広がる笑顔の輪 東条東小・地域土曜ふれあい活動



七夕飾り(南山地区)



豆腐白玉づくり(森地区)

6月24日、東条東小校区内の地区公民館などで、同小児童が様々な活動を通じて地域の人々とふれあう『地域土曜ふれあい活動』が開催されました。

地区毎に企画されるため、毎年、多種多様な内容となる地域土曜ふれあい活動。七夕飾りを楽しむ地区や、ニュースポーツに取り組む地区など、今年も色とりどりでした。

森地区で花壇づくり・七夕飾り・豆腐白玉の調理を楽しんだ6年生の柳 結衣さんは「地域の人に声をかけてもらって、うれしかった。これからは、こちらから話しかけたいです」と話していました。

## 爽やかな新茶 できました



6月20日、三草小学校のみなさんが、校内にある茶畑で採れた新茶を届けてくれました。この新茶は、5月20日に開催された『ふれあい茶摘み』で採れたものです。

ふれあい茶摘みでは、同校児童と地域の方々合わせて約250人が協力し、67.1kgもの新茶を収穫。参加した同校4年の藤本一寿さんと吉田貫汰さんは「毎年参加して、少しずつ摘める量が増えてきたことがうれしい」と、茶葉でいっぱいにした収穫袋を手に、喜んでいました。

## 七夕まつりを初開催



7月8日、上滝野地区内の闘竜すくえあで、地区で初となる七夕まつりが開催されました。開催のきっかけは、昨年、国土交通

省の呼びかけにより、同じく闘竜すくえあで開催された『水辺で乾杯2016 in 加古川闘竜灘』。同イベントが大盛況であったことから、地域の誰もがふれあえる新たな催しを求める声が高まり、今回の七夕まつりが企画されました。

当日は、綿菓子やかき氷のサービスのほか、七夕飾りを楽しめるコーナーなどが人気を呼び、狙い通りの大賑わいとなっていました。参加した同地区老人会の丸山忠成さんは「こうしたふれあいの場があると、新しく地区内で住み始めた人とも知り合えて、とてもうれしい。今後もぜひ続けてほしい」と、喜んでおられました。

## 茶産地同士で災害協定



7月6日、加東市と京都府宇治田原町との間で、災害時の相互応援協定を締結しました。協定は、互いにお茶の産地であることをきっかけに、宇治田原町から打診されたもの。災害時には、食料提供や職員派遣などで助け合うことが定められています。

協定締結にあたり、安田市長は「災害発生後、早期に日常の市民生活を取り戻すことに、この協定が大きく寄与してほしい」と期待を寄せました。また、宇治田原町・西谷信夫町長は「協定は、町民の生命・財産を守るのに有用。これから、お茶を通じた縁を太くしていきたい」と意気込みを語りました。

まちかど  
トピックス

TOPICS

身近な話題など、お気軽にご連絡ください。

43-0387